

石の楽器（サヌカイト）のコンサート：大学の地域貢献の一環として Concert with stone-made musical instruments: college contribution to local community

植木 岳雪^{1*}; 手束 聡子¹

UEKI, Takeyuki^{1*}; TEZUKA, Satoko¹

¹ 千葉科学大学危機管理学部

¹ Faculty of Risks and Crisis Management, Chiba Institute of Science

大学には研究、教育、地域貢献の3つの役割があり、大学のミッションによってそれらの割合は異なるが、近年、地域貢献の比重が相対的に大きくなっている。千葉科学大学は、地方にある小規模な理系の私立大学である。大学は、千葉県銚子地域の知の拠点（COC）となるべく、公開講座のようなアウトリーチ活動、学生のボランティア活動、学生消防隊、好適環境水による新産業創出、ジオパークによる郷土教育など、地域連携活動を積極的に行ってきた。しかし、一般市民を対象としたアウトリーチ活動の中で、地球惑星科学に関するものはほとんど行われてこなかった。

2014年1月にプロの打楽器奏者を招聘して、石の楽器のコンサートを実施した。その目的は、学生、教職員を含む一般市民（学生、教職員を含む）に、音楽を通して地形・地質に親しみと興味関心を持ってもらうことである。参加者は合計55名であった。アンケート調査によれば、参加者は全て肯定的な評価を示したが、広報の方法を再検討する必要性が明らかになった。この結果を踏まえて、2015年3月に石の楽器のコンサートを再度実施する予定である。本講演では、これら2回のコンサートの結果と参加者による評価を報告する。

キーワード: 地域貢献, 生涯学習, アウトリーチ, サヌカイト, コンサート

Keywords: contribution to local community, lifelong learning, outreach, Sanukite, concert